



令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」


事業実施報告書

I	スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
II	マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
III	スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
IV	日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
V	スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【静岡県】

学校名【三島市立徳倉小学校】

1 実践テーマ	I・II・III・IV・V(複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	(1) 三島市立徳倉小学校 4年生 64名 (2) 三島市立徳倉小学校 6年生 72名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名(総合的な学習の時間) ② 行事名(パラリンピアン体験をきいて夢について考えよう) ③ その他() (2) 地域における活動 ① イベント名(聖火ランナーサポートランナーミニセレブレーション参加) ② その他()
4 目標 (ねらい)	(1) パラリンピアン春田選手を招聘し、発病や入院での思い、パラスポーツとの出会い等体験談を聞いて、スポーツの楽しさを知ったり、障がいについて考えたりすることで、自分自身を見つめ「共に生きる」のテーマについて考えることができるようにする。 (2) サポートランナーがミニセレブレーションで踊る東京五輪音頭を6年生の全児童が練習することで、東京オリンピックへの興味関心が高まるようにする。
5 取組内容	1 パラリンピアン春田選手を招聘 ・春田選手の講話 ・交流活動 ・質疑応答 幼少期から骨肉腫発病後の生活、パラ陸上との出会い等、講話を聴いたり、春田選手と交流をしたりすることにより、子供たちが、障がいについて自分ごととして考える。  

	<p>2 東京オリンピック音頭 講習会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石田先生を講師として招聘、 ・6年生がクラスごとに講習を受ける ・ミニセレブレーションで代表児童が披露する 
<p>6 主な成果</p>	<p>(1) パラリンピアン春田純選手による体験授業 パラリンピアンの方の講話を聴いたり、交流活動を行ったりしたことで、総合的な学習の時間の探究課題「共に生きる」について学びを深めるきっかけとなり、自分ごととして考える子供の様子が多く見られた。 本活動の流れ 課題設定→調べ学習→ポッチャ体験→春田選手体験授業→課題追究→発表資料づくり→学年発表会</p> <p>(2) 東京五輪音頭 講習会 東京五輪音頭の練習を代表児童だけでなく、6年生全員で行うことで、オリンピックに興味関心が高まることができた。また代表児童もミニセレブレーションで踊りを披露することができ、大変貴重な体験になった。</p>
<p>7実践において工夫した点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染対策を進めながらではあったが、できる限り、直接の体験や交流活動を計画、実行し、子供たちが、多くの方と出会い、感じたり考えたりできる活動を行うようにした。 ・児童の学習課題にあった講師を招聘し、課題追究のための交流活動になるように工夫した。
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、東京五輪オリンピック開催年度であったため、現役オリンピック選手との交流を実施したかったが、設定が困難な状況となった。 ・推進校同士の情報共有が必要だと感じた。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>本校では、3年間様々な交流活動を行ってきたが、たくさんの方とのふれあいの時間から、数え切れないことを学ぶことができた。今後も本事業を活用し、交流の機会を設定していきたいと考えている。</p>